

## 授業の概要

語学を修得するためには、実際に使うことが効果的である。この演習では、海外で行われる語学研修プログラムに参加し、外国語の運用能力とコミュニケーション能力を高めることを目的とする。海外語学演習 2 は、派遣先プログラムにより指定された内容による。また、実施前後にそれぞれ「留学・海外研修事前調査」と「留学・海外研修事後調査」を用いて CEFR による能力特性自己評価を行う。

## 授業の目的

簡単な内容の情報や自分の意見を外国語で他者に伝えることができ、他者が外国語で発信した簡単な内容の情報を理解することができるエンジニアを育成する。

## 達成目標と学習・教育到達目標との対応

	機械 工学科	機械 機能 工学科	材料 工学科	応用 化学科	電気 工学科	情報 通信 工学科	電子 工学科	土木 工学科	情報 工学科
1 簡単な内容の情報や自分の意見を外国語で他者に伝えることができる	C-2	A	I.b	C	F	F2	A	I	F-2
2 他者が外国語で発信した簡単な内容の情報を理解することができる	C-2	As	I.b	C	F	F2	A	I	F-2

## 授業で使用する言語

英語

# 授業計画

	授業計画	授業時間外課題（予習および復習を含む）	必要学習時間
1	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先に関する事前調査 渡航に関わる準備	88 分
2	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
3	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
4	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
5	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
6	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
7	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
8	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
9	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
10	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
11	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
12	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
13	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
14	派遣先プログラムに準ずる。	派遣先でのプログラムに準ずる課題	88 分
合計	-	-	1232 分

## 達成目標との対応・割合

	プログラムへの参加	合計
1.	50%	50%
2.	50%	50%
合計	100%	-

## 評価方法と基準

派遣先認定証をもとに、「留学・海外研修事前調査」と「留学・海外研修事後調査」の両方に指定期限までに回答した場合に認定を

行う。

教科書・参考書

派遣先の指定に準ずる。

履修登録前の準備

実習前に e-learning 教材「スーパー英語 Academic Express2」の Basic level を履修中または履修済みであることが望ましい。

オフィスアワー、質問・相談の方法

学生課へ相談のこと

環境との関連

-

地域志向

-

社会的・職業的自立力の育成

-

アクティブ・ラーニング科目

能動的な学修への参加による授業が大部分

実務経験のある教員による授業科目

-

SDGs（持続可能な開発目標）関連事項

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーン
8. 働きがいも経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ⑩. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリーシップで目標を達成しよう